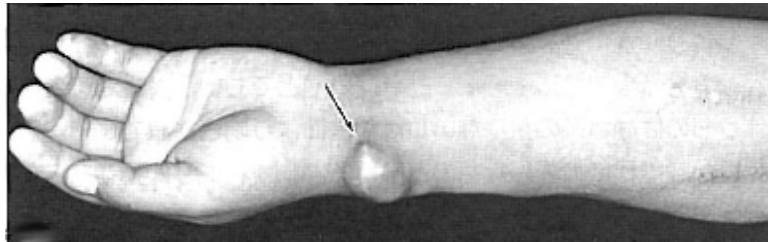


<感染>これはシャントそのものがダメになるだけでなく、生命にかかわることもある重大なトラブルです。早期に発見すれば、抗生物質の点滴でよくなることもあります。発見が遅れると、菌が全身にまわり、命取りとなります。人工血管が入っている方は特に重症となりやすく注意が必要です。場合によっては、人工血管をすべて取り除く手術が必要となります。菌のいるところを触る手術ですので、かなりの痛みを伴います。予防が何より肝心です。手洗い等には十分気をつけましょう。

<瘤>シャントがこぶのように膨らんだものです。症状がなければ経過観察でかまいません。しかし、こぶの部分の皮膚が薄くなり青みがかってきたり、発赤が強くなってきた場合には破裂する可能性がありますので、切除手術が必要となります。



<血清腫>これも瘤と同じようにこぶが出来ますが、瘤との違いはこぶの中に血液が流れていないことと、人工血管とご自身の血管の吻合部に出ることです。自己血管内シャントをお持ちの方には無縁です。大きなもので、美容的に気になる場合には手術をします。

<過剰血流>これはあまり聞いたことがないかもしれませんが。シャントの血流は多ければいいというものではありません。多すぎると、心臓に負担をかけることとなります。心臓に負担がかかり心不全をきたしたり、腕がはれたりする場合には手術をしてシャントをあえて閉鎖する必要があることもあります。

以上、簡単にシャントのことについてお話をさせていただきました。透析治療を続けていくにあたり、必要不可欠なシャントです。満足のいくシャントはいわば皆さんの命綱となります。少しでも長持ちさせ、うまく付き合っていくために、日ごろからよく観察してください。そして、異常を感じたときには遠慮なく、周りのスタッフに相談してくださいますようお願いいたします。